

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

2次元から3次元の時代へ

～時短・生産性を向上させる工夫～

① 最近、製品がどんどん小型化、複雑化しているから、設計が大変だよ。設計開発部署のみんなが長時間労働だ・・・。

① なんともならないものか

設計で大変なことは为什么呢。

② うちの2DCADで設計をしているんだけど、設計図から試作品を製作する場合、図面の読み取り、加工方法の検討などの工程が多くあり、時間がかかるんだ。設計書が出来れば、すぐに製造開始というわけにはいかないんだよ。

② やり直しも多くてね

③ それでは、2Dではなく3DCADを導入してはどうでしょうか。3DCADでは立体的なモデルを作成するので、製造者も直感的に設計を読み取ることが可能となり、作業効率が良くなるはずですよ。

③ そんなことができるのか

導入には助成金を活用しましょう

④ 助成金を活用し、3DCADを導入したところ、設計図の読み取りが容易になり、試作機の製造がスムーズになりました。また、3Dモデル上で部品干渉も確認できることから、試作段階での手戻りが減りました。

④ 業務効率が改善し、長時間労働が解消した

◇：コンピュータを使って設計・デザインすること。2D→平面で考える。3D→立体的に考える。

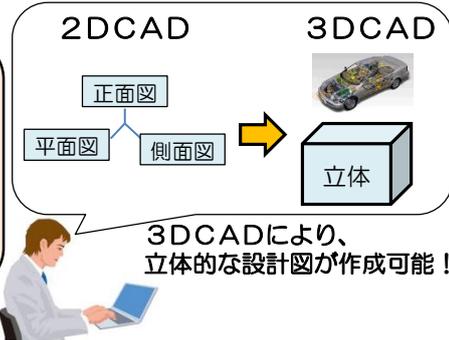
取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：22名

従来は2DCADを使用し、製図を行っていたが、試作機を作る際、試作機の製造者が図面を読み取り、加工方法の検討、加工データの作成を経てから、試作品の加工に入るというように、いくつもの工程があり、時間がかかっていた。

<3DCADシステムの導入>

- 立体的な設計図が作成可能な3DCADを導入した。
- 試作機の製造を行うため、3DCADデータと連携が可能な3Dプリンターを導入した。



【3DCAD導入費用を助成！】
【働き方改革推進支援助成金】

○労働時間短縮・年休促進支援コース

助成率 75%
(一定要件の場合、80%)

かつ
上限額 最大200万円
(一定要件の場合、最大440万円)

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

◆申請締切令和3年11月30日(国の予算の制約のため、これ以前に受付を締め切る場合があります)

- ・3DCADでは立体的なモデルのデータを作成するため、体積・表面積・質量・重心等の情報を算出することが可能となり、部品同士が干渉しないか検証できることから、開発終盤での手戻りが減少した。
- ・3Dプリンターにより3DCADのデータから成型機で試作機を完成できるようになった。
- ・結果として、長時間労働が解消し、36協定の上限を見直した。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階(タスクール内)

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日(祝日等を除く) 午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com